

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

令和6年11月25日
団体名 AMUT

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	にぎわいを創出することを目的に、真福寺でお化け屋敷を開催します。大人から子どもまで年代問わず多くの市民が参加でき、楽しめる本イベントで綾部市を盛り上げ、地域活性化へ繋がります。
事業の名称	最怖お化け屋敷 In 綾部
事業費 （市補助金）	463,491円 (200,000円)
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	会場使用料、チラシ印刷費、委託費、消耗品等
事業実施期日	令和6年11月2日（土）、3日（日）
事業実施場所	真福寺（綾部市向田町上大門10）
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	最怖お化け屋敷In綾部と題し綾部市民の方が楽しむことのできるお化け屋敷を実施した。 真福寺を会場とし、参加者はストーリーに従ってルート案内役のキャストと一緒に寺院内のコースを歩き、5分程度の日常では体験できない体験を行った。 また、コース内にはミッションがあり、コース内に3箇所あるアイテムを入手することで、ミッションクリアとなり、ミッションクリアをした方はゴール後にスタッフ全員と写真撮影をするサービスも用意。 その他にも、会場の敷地内には常時不安を煽る音楽が流れており、来場者は足を踏み入れた時から緊張感を感じられるような会場設営を行った。
補助金の効果（成果） （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）	綾部市内から集まったボランティアの運営スタッフと、来場者の市民の中で新たな交流が生まれた。また、交流の中で新たな出会いだけではなく綾部市活性化に向けた話等も出てきた。市民公募のボランティアスタッフの協力のもと、家族連れを含む多世代の市民を対象とし、特別感・非日常感を体感できるこのお化け屋敷イベントを実施したことにより、開催地の志賀郷エリアを中心として綾部市内全体でにぎわいを創出することができた。

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和6年11月25日

団体名 AMU T

（単位 円）

収入の部	区分	予算額	収入済額	明細
	市補助金	200,000	200,000	
	参加費	200,000	159,500	当日券65,500円、事前チケット94,000円
	自己資金	32,695	103,991	クラウドファンディング10,000円、自己資金93,991円
	合計	432,695	463,491	
支出の部	区分	予算額	支出済額	明細
	会場使用料	30,000	30,000	真福寺
	レンタル料（器具）	150,000	0	
	レンタル料（レンタカー）	25,000	0	
	委託料	110,000	248,800	お化け屋敷プロデュース一式（レンタル・動画作成・メイク材料等）
	チラシ印刷費	15,115	19,286	A4チラシ他
	イベント保険料	10,000	27,550	
	ちらし折込代	36,580	36,580	あやべ市民新聞
	ボランティアスタッフ謝礼	26,000	0	
	消耗品	30,000	51,311	テープ等（明細別紙）
	各種手数料	0	9,634	道路使用許可申請手数料2,040円、クラウドファンディング手数料1,870円、事前販売チケット手数料5,724円
	コピー代	0	3,810	
	郵送代	0	3,520	レンタル品の返送代
	広告宣伝費	0	33,000	広告媒体使用料金
	合計	432,695	463,491	
差引		0	0	